



2018（平成30）年7月13日

各 位

会 社 名 株式会社テーオーホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 小笠原 康正  
(JASDAQコード・9812)  
問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 専務執行役員 小山 直樹  
電 話 番 号 0138-45-3911

特別損失（減損損失）の計上及び  
業績予想値と実績値の差異並びに剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

当社は、平成30年5月期の決算において、下記のとおり特別損失を計上することといたしましたのでお知らせいたします。併せて、平成30年4月12日に公表しました業績予想値の実績値の差異並びに平成30年5月31日を基準日とする剰余金の配当を見送ることを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

当社の保有する固定資産及び事業用資産について、減損の兆候が見られたため「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき再評価した結果、減損処理675百万円を行い特別損失に計上いたしました。

2. 業績予想値と実績値の差異について

(1) 平成30年5月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年6月1日～平成30年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 39,500	百万円 △300	百万円 △300	百万円 △400	円 銭 △63.89
実績値 (B)	39,362	△419	△474	△1,333	△213.04
増減額 (B-A)	△137	△119	△174	△933	—
増減率 (%)	△0.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年5月期)	40,187	113	221	△423	△67.58

(2) 修正の理由

通期の連結業績につきましては、平成30年4月12日に公表しました「平成30年5月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で業績予想を修正しておりました。

しかしながら、当第4四半期連結会計期間において、売上高はほぼ予定通り推移いたしました。しかしながら、利益面につきましては、連結子会社の一部取引先において、経営成績及び財政状況の悪化を認識したことから、当初の貸倒引当金計上額に45百万円積み増したることなどにより、営業利益及び経常利益は前回予想を下回りました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益については、上記の「1. 特別損失（減損損失）の計上について」及び一部繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整の影響額が 85 百万円あったことなどにより前回予想を下回りました。

### 3. 剰余金の配当について

#### (1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予定 (平成 29 年 7 月 14 日公表)	前期実績 (平成 29 年 5 月 31 日)
基準日	平成 30 年 5 月 31 日	同左	平成 29 年 5 月 31 日
1 株当たり配当金	0 円 00 銭	10 円 00 銭	10 円 00 銭
配当金の総額	—	—	63 百万円
効力発生日	—	—	平成 29 年 8 月 25 日
配当原資	—	—	利益剰余金

#### (2) 理由

当社の配当政策につきましては、株主の皆様に対する利益還元を最優先課題と位置づけており、かつ、着実な実績の向上を図りながらそれに応じた適正な配当を行うこと基本方針としております。

しかしながら、平成 30 年 5 月期につきましては、「2. 業績予想値と実績値の差異」のとおり大幅な損失額を計上することに至ったため、誠に遺憾ながら期末配当を見送らせていただきます。

今後、全社一丸となって安定的な収益基盤の強化に取り組み、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努力してまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

#### (ご参考)

基準日	1 株当たりの配当金 (円)		
	中間配当	期末配当	年間
当期実績	0 円 00 銭	0 円 00 銭	0 円 00 銭
前期実績 (平成 29 年 5 月期)	0 円 00 銭	10 円 00 銭	10 円 00 銭

以上